

このたびは三菱照明器具をお買上げいただきありがとうございました。

本器具は壁スイッチ動作等により、点灯モードが定格モードと節電モード（約70%）に切替が可能です。

三菱 LED 照明器具 [段調光形 (100%,70%)]

LED ライトユニット形ベースライト Myシリーズ 110形 ライトユニット

ライトユニット形名 EL-LU91033 (D,N,W,WW,L) 2AHTN

下表の器具本体と組合せてご使用ください。
適合する器具がない機種は「—」で表示しています。

	適合本体	器具本体	ブルスイッチ付
直付形	逆富士タイプ 150幅	EL-LH-V91500	EL-LH-V91501
	逆富士タイプ 230幅	EL-LH-V92300	EL-LH-V92301
	トラフタイプ	EL-LH-L90700	EL-LH-L90701
	笠付タイプ	EL-LH-H91500	EL-LH-H91501
	下面開放タイプ	EL-LH-X92500	—

	適合本体	器具本体
埋込形	150幅	EL-LH-B91500
	190幅	EL-LH-B91900
	220幅	EL-LH-B92200
	300幅	EL-LH-B93000

用途別	適合本体	器具本体
	ウォールウォッシャ器具	EL-LH-N91101

ライトユニット形名の（ ）内は光色を示します。

取扱説明書

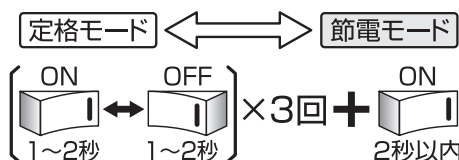
ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。お読みになった後、「据付工事説明書」と共に大切に保管し、必要なときにお役立てください。

- 施工方法は、器具本体同梱の「据付工事説明書」を参照してください。
- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
- 電源周波数50Hz、60Hz共用形です。日本全国どこでも使用できます。

点灯モードの切り替え

<定格・節電モードの切替>

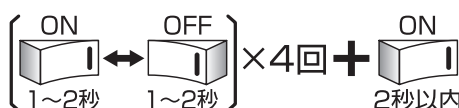
- 壁スイッチ操作により、点灯モード（定格モード・節電モード）の切替が可能です。
- 出荷時は定格モードに設定されています。
- 消灯しても消灯前の点灯モードで記憶しています。



- 定格モード切替
：約5秒の間に明るさが1回変化します。
- 節電モード切替（約70%）
：約5秒の間に明るさが2回変化します。

<リセット操作>

- 器具間の点灯モードが揃わない場合、壁スイッチ操作により定格モードリセットを実施してください。
- ※いずれの点灯モードからでも定格モードへリセットされます。



- 明るさが1回変化すればリセット完了となります。

形名	定格	定格電圧	入力電流 (A)			消費電力 (W)			段調光 (70%) 消費電力 (W)		
			100V	200V	242V	100V	200V	242V	100V	200V	242V
EL-LU91033 シリーズ (10000lm 一般タイプ)	2AHTN	AC200 - 242V	—	0.314	0.262	—	61.6	61.6	—	42.4	42.4

組合せの特性及び組合せ形名については、各組合せ形名納入仕様書を参照ください。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、**△警告**、**△注意**の表示で区分して説明しています。表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。



絶対に行わないでください。



必ず指示に従い行ってください。



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの



禁止

器具の改造や指定部品以外の交換はしない。
(火災・感電・落下の原因)

器具を布や紙などで覆わない。
(可燃物を被せて使うと火災の原因)

器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。
(火災・感電の原因)



注意

誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの



禁止

お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士の資格が必要です。(火災・感電の原因)

器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。(過熱して火災の原因)

光を直視しない。
(長時間直視すると目を痛める原因)



厳守

明るく安全にご使用いただくために半年に1回の保守・点検を行う。

● 照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
LED光源は寿命が来ても暗くなりますが点灯し続けます。点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。

※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。

● 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。

● 3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。

● 点検せずに長期間使用し続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。

器具の取扱い

- 受信電波が弱い場合には、AM及び短波放送では雑音が入る場合があります。
- 器具の近くでワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入り正常に作動しない場合があります。
- 赤外線リモコン方式のテレビ・ラジオなどは、照明器具から離してご使用ください。
(雑音が入ったり、正常に作動しない場合があります。)
- 放送設備などの音声信号や映像信号は、微弱なため電源線や安定器の配線からの雑音を受けることがあります。

器具の清掃

<器具のお手入れについて>

器具の汚れは、柔らかい布をうすめた中性洗剤につけてよくしぼってから拭きとり、さらに洗剤成分が残らないようによくしぼった水拭き用の柔らかい布で仕上げてください。シンナー・ベンジン・みがき粉やたわし・熱湯・アルカリ性洗剤・薬品などは使用しないでください。

<カバーのお手入れについて>

カバーはキズつきやすいのでメガネ拭き等柔らかい布で拭いてください。



警告

電源スイッチを切ってから行う。
(感電の原因)



注意

点灯中および消灯直後の器具には触らない。
(高温のためやけどの原因)

保証について

<無償修理>

照明器具の商品納入日より1年間、また照明器具に内蔵されているLED光源・電源ユニットは3年間です。
※保証期間と保証内容についての詳細はカタログを参照ください。

<無償提供>

LED光源・電源ユニットの故障による不点灯不具合につきましては、代替商品またはLED光源・電源ユニットを5年間無償提供させていただきます。

お知らせ

- LEDにはバツキがあるため、器具内の個々のLEDや同一形名の器具でも、発光色・明るさが異なる場合があります。
- 誘導及び空間波無線に対する影響
使用周波数が数百kHzの誘導無線(同時通訳システム)及び数百MHzの空間波無線の場合、雑音が入ることがありますので事前確認することをおすすめします。
100V電源の場合には、接地工事することにより低減できる場合があります。
- 点灯・消灯時にカバー・反射板の収縮や膨張により、きしみ音が発生する場合がありますが、異常ではありません。
- LED光源の交換はできません。
交換の際はライトユニットごと交換してください。
- 壁面や床面等への照射距離が近い時や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。
- 虫の飛来が多い場所で使用される場合、ライトユニット内に虫が侵入する恐れがあります。
このような場合は、防雨・防湿形器具をおすすめします。
- 無線調光ユニットを取付けて使用する場合、専用コントローラとの組み合わせで使用してください。
専用コントローラが設置されていないまたは、電源がOFFの場合には、照明器具の電源投入から点灯までの時間が遅くなります。(約5秒程度)
コントローラの電源がONになっていることを確認してください。

異常時の処置



警告

煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。
(火災・感電の原因)

煙が出なくなったことを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

取扱い・修理のご相談は、まず
お買上げの販売店・施工者・設備業者へ

三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社

〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船 2-14-40

お買上げの販売店等にご依頼できない場合は、ご相談窓口へお問い合わせください。

ご相談窓口 照明技術相談センター

フリーダイヤル
0120-348-027 (無料)

受付時間 9時～17時(土・日・祝日は除く)
FAX (0467) 46-8861

この説明書は、再生紙を使用しています。

各部のなまえと取付けかた

⚠ 警告

器具の取付けは据付工事説明書に従い行う
(不確実な取付けは、火災・感電・器具落下の原因)

1 取付前の確認

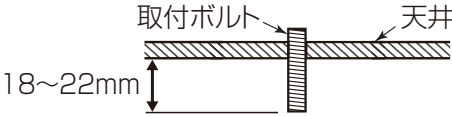
- (1) 器具本体質量(右表)、ライトユニット質量、オプション(ガード等) 質量、及びライトユニットの引き下げ力(60N) の合計に十分耐えるよう、取付部の強度を確保する。
- ・ライトユニット及びオプションの質量は、適合品の納入仕様書を参照ください。
 - ・取付ボルトを使用の場合は、W3/8 または M10 を使用する。
 - ・取付面に対し、取付ボルトが垂直であることを確認する。

形名	器具本体質量
EL-LH-V91500	約 1.9kg
EL-LH-V92300	約 2.5kg

⚠ 警告

器具の取付けは質量に耐える所に
取付ける (落下の原因)

- (2) 取付ボルトの長さは、天井面より 18 ～ 22 mm にする。



2 器具本体を取付ける

※器具本体及びライトユニットの取付けは、安全施工のため、2名以上で行うことをお勧めします。

- (1) 器具本体のブッシュ付電源用穴に電源線・アース線を引き込む。ノックアウトの電源用穴を使用する場合は、必ず器具本体に付属のブッシュを取付ける。
- (2) 連続調光形の調光機能を使用する場合は、信号線用穴に必ず付属のブッシュを取付け、信号線を引き込む。
- (3) 別途手配の、平座金・六角ナットを用いて、本体を確実に固定する。六角ナットの締付トルクは 1.0 ～ 1.2 N・m。

⚠ 警告

器具を確実に取付ける
(取付けが不完全な場合落下の原因)

⚠ 注意

器具の取付け・取外し・清掃時は
手袋などの保護具を使用する
(けがの原因)

— お 願 い —

締付トルクが過ぎると、器具変形、
天井面とのすき間の原因となります。

3 電源線・アース線を電源端子台に接続する

- (1) 電源線には、ライトユニット同梱の耐熱チューブを取付けてください。(耐熱チューブ同梱のライトユニットのみ)
- (2) アース線を電源端子台の差し込み穴に、水平方向より確実に差し込む。
- (3) 電源線・アース線を電源端子台の差し込み穴に、水平方向より一本ずつ確実に差し込む。

⚠ 警告

D種〔第3種〕接地工事は電気設備
の技術基準に従って行い、漏電
遮断器を確実に設置する(故障・
漏電の時に、火災・感電の原因)

・適合引込み電源線：
φ 1.6mm VVF 単線
または φ 2.0mm VVF 単線

・電源線を電源端子台から取り外すときは、幅 6mm のマイナスドライバーで、解除ボタンをまっすぐに押す。

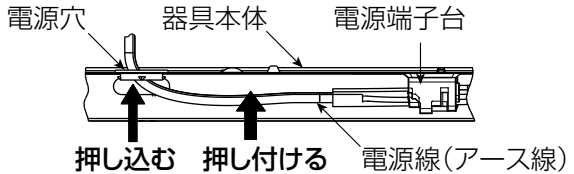
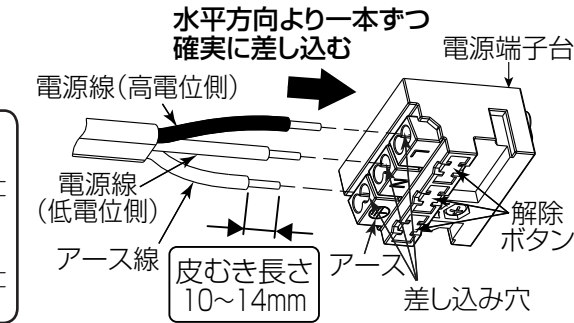
・電源端子台の送り総容量はライトユニットの明るさタイプで異なります。(下表参照)

明るさタイプ	送り総容量
13400lmタイプ	12A
10000lmタイプ	14A
6400lmタイプ	16A
5000lmタイプ	20A

⚠ 警告

・電源の接続は適合電源線の被覆を指定長さにむき、1本ずつ差し込み穴の奥まで差し込む(差し込み不十分は接触不良により、火災・感電の原因)
・送り配線は照明器具専用回路とし、電源端子台の送り総容量を確認して接続する(容量を超えると電源端子台が過熱して火災の原因)

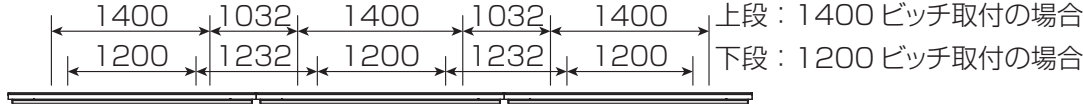
- (4) 電源線・アース線の接続後、余分な電源線はライトユニットとの当たりを防ぐため、電源穴に押し込み電源線を器具本体に押し付ける。



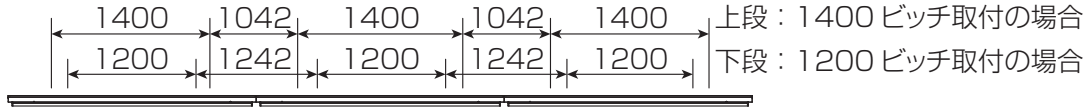
6 連続取付の場合

- (1) 取付ピッチを確認する。(単位 mm)

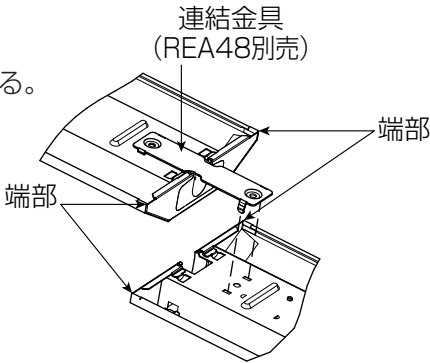
[EL-LH-V91500 の場合]



[EL-LH-V92300 の場合]



- (2) 器具本体の端部をそろえて連結する(器具本体の中心をあわせる)。
- (3) 連続取付の中央部から両端に向かってライトユニットを器具本体に取付ける。
- ※連結金具(REA48:別売)をご使用いただくと、器具本体の中心が合わせやすくなります。
連結金具の取付けかたは REA48 の取扱説明書を参照してください。

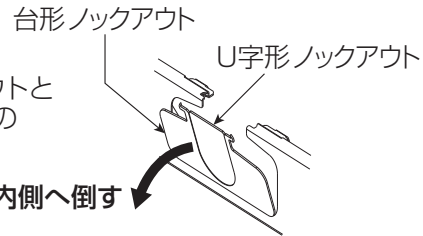


7 器具間送り配線をする場合

- (1) 天井裏に、電源線・信号線に戻して配線する(推奨)。

〔器具内送り配線をする場合〕

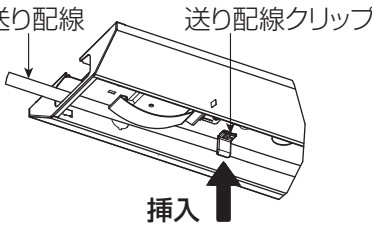
- (1) 器具本体の U 字形ノックアウトと台形ノックアウトを器具本体の内側に倒して取外す。



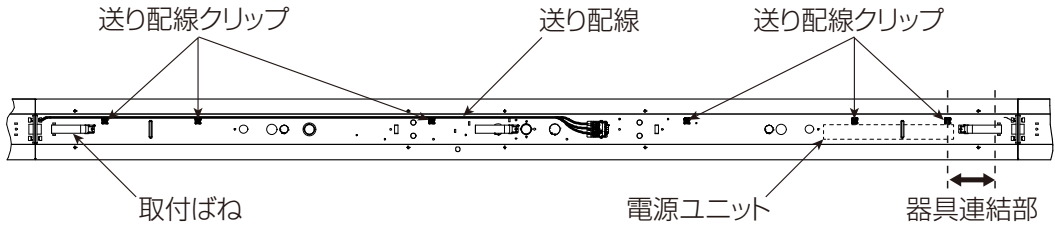
⚠ 注意

・ノックアウト取外し作業はペンチ等の工具を用いる(けがの原因)
・ノックアウト部分〔電源用・信号線用穴〕には各配線のシース〔外被〕を残して施工する(火災・感電の原因)

- (2) 電源線・信号線はエコケーブルソフトタイプを使用し、器具間を接続する。
- ・適合電源線：φ 1.6EM-EEF
 - ・適合信号線：φ 0.9EM-FCPEE-1P

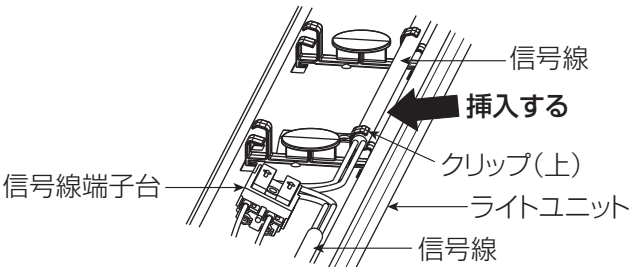


- (3) 取付ばね、電源ユニット、プルスイッチ可動部に触れないように配線し、送り配線クリップ(6ヶ所)に挿入して固定する。



- (4) 信号線をライトユニットに固定する。
(連続調光形の調光機能を使用する場合のみ)

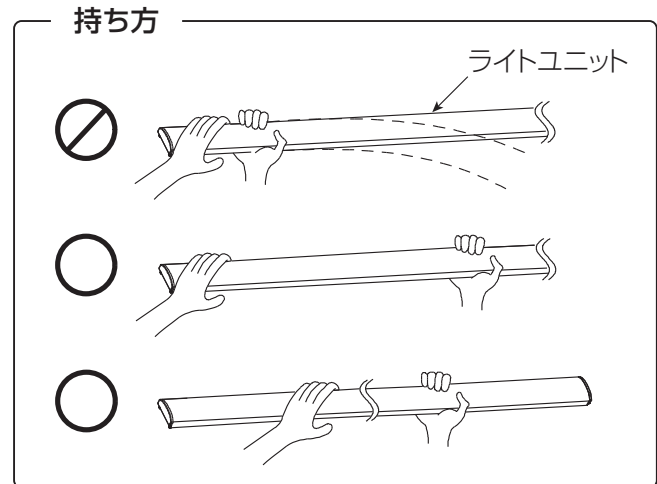
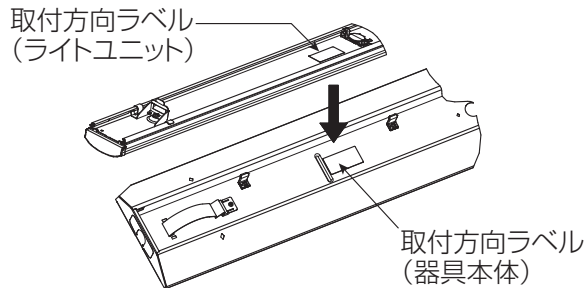
・ライトユニットを仮取付けした状態で信号線をクリップ(上)に挿入する。



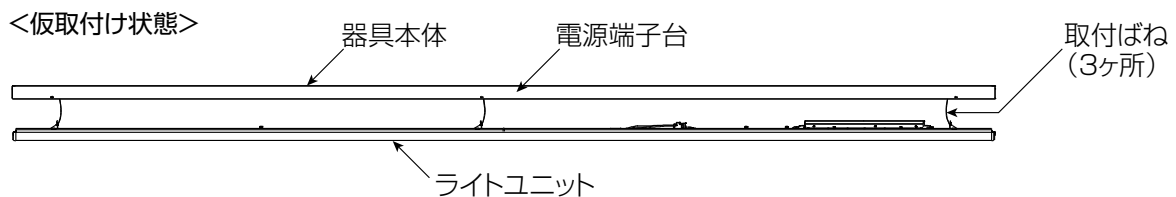
4 ライトユニットを器具本体に取付ける

- ・ライトユニットには、方向があります。取付ける際には、器具本体とライトユニットの色付きの取付方向ラベルを合わせてください。

お願い
ライトユニットを端部支持のみで持たない（過変形による不点の原因）

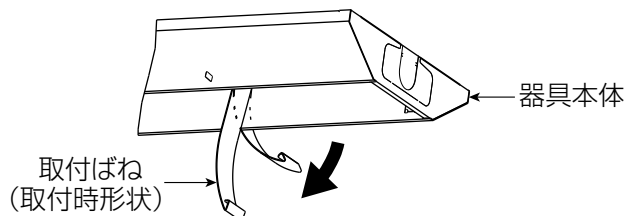


- (1) 器具本体側にライトユニットを仮取付けする。



- ・器具本体の取付ばねを下げる。

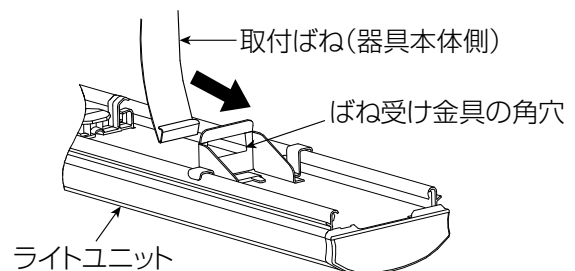
お願い
取付ばねを必要以上に曲げない
(取付ばね変形の原因)



- ・取付ばね 3 ヶ所をライトユニットのばね受け金具の角穴に入れる。

⚠ 注意

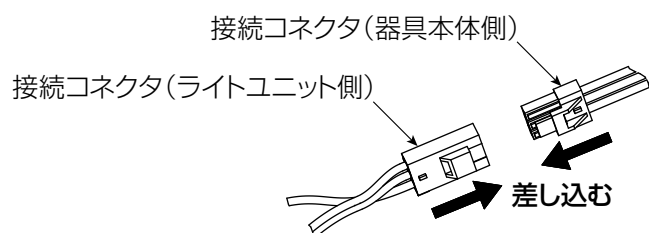
1 ヶ所の取付ばねのみばね受け金具の角穴に入れた状態で保持しない（落下の原因）



- (2) 器具本体側とライトユニット側の接続コネクタを接続する。

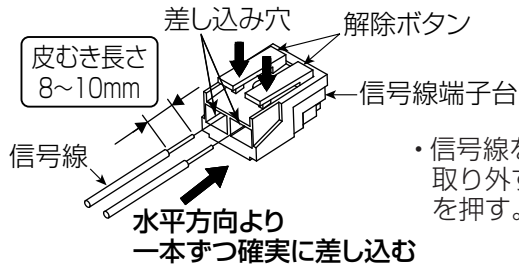
⚠ 警告

通電した状態でコネクタの接続をしない（感電の原因）



- (3) 信号線を信号線端子台の差し込み穴に水平方向より一本ずつ確実に差し込む。
(連続調光形の調光機能を使用する場合のみ)

- ・適合引込み信号線 $\phi 0.9$ mm FCPEV-1P 単線 または $\phi 1.2$ mm FCPEV-1P 単線
接続が不完全な場合、動作不良の原因となります。
- ・調光信号が入力されると、初期照度補正は解除されますが、連続点灯時間はカウントし続けます。



- ・信号線を信号線端子台から取り外すときは、解除ボタンを押す。

警告

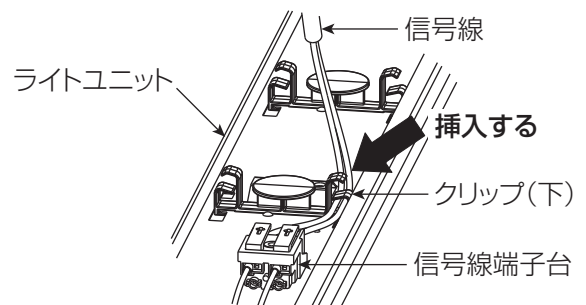
信号線端子台に電源線を接続しない
(過熱して火災の原因)

お願い

接続時にライトユニットに、過度な荷重をかけない(破損の原因)

- (4) 信号線をライトユニットに固定する。

- ・信号線をクリップ(下)に挿入し、余分な信号線はライトユニットとの当たりを防ぐため、信号線用穴に押し込む。



- (5) ライトユニットを取付ける。

- ・ライトユニットの取付ばね近傍を持ち、器具本体側に押し上げる。



警告

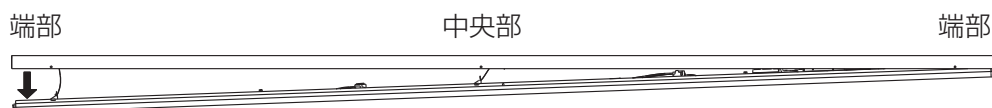
接続コネクタ・電源線・信号線・送り配線を挟み込まない(火災・感電の原因)

注意

- ・押し上げ時に器具本体とライトユニット間に指を入れない(けがの原因)
- ・ライトユニット取付後、電線の挟み込みがないことを確認する(感電の原因)

5 ライトユニットの取外しかた

- (1) 器具本体の◇形マークを目印に、ライトユニット側面部を持ち、『端部→中央部→端部』の順に引き下げる。
- (2) 取付けた時と逆の手順で取外す。



注意

点灯中及び消灯直後の器具本体及びライトユニットに触らない(高温のためやけどの原因)

